

三国小学校区協働のまちづくり協議会

発行：平成30年3月15日

発行責任者：藤江和男

早春の候、三国小学校区の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、韓国 平昌では、2月9日から4年に一度の平和の祭典「オリンピック冬季競技大会」（「パラリンピック冬季競技大会」は3月9日からの予定）が盛大に開催されました。突然の南北朝鮮の合同チームでの参加表明、安倍首相の開会式出席の是非論争など、何かと話題に上りましたが、連日のアスリートたちの熱き戦いと晴れやかな笑顔は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

「三国まち協」は、今年度、皆様のご支援を賜りながら、平成29年5月に「第4回定期総会」を開催し、各部会は、定期総会で承認いただいた諸活動に全力で取り組んでまいりました。常時活躍している「青パトによる見守りパトロール活動」（防犯部会）、そして「健康福祉講演会」（健康福祉部会）を皮切りに、「女子ソフトバレーボール大会」（スポーツ部会）、「みくに秋祭り」（青少年育成部会）、「親善交流男子ソフトボール大会」（スポーツ部会）を開催し、2月の「視察研修」（環境部会）、「防災講習会」（防災部会）で今年度の行事を無事完了することが出来ました。

これもひとえに三国小学校区の皆様のご理解・ご協力の賜物でありますし、私たちの活動の大きな原動力となりました。心より深く感謝申し上げます。

「まちづくり」の役割は、自分たちの住んでいるまちを「安全・安心・住みやすいまち」にするために、地域を活性化し、世代を越えた人と人とのつながりを築き上げ、それを次の世代に継承していくことだと考えています。これからも地域全体で協力し合えるよう、10の「行政区」と「三国まち協」が連携して話し合い、みんなで楽しめる行事、地域に伝わる伝統文化の継承や豊かな自然の保全などを通して、子どもも大人も高齢者の方々も『楽しいふれあい』を共有できることを念頭に置いて、活動していきたいと考えております。

来年度も「三国まち協」の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

三国小学校区協働のまちづくり協議会

会長 藤江和男

「三国カフェ」オープン♪

日時 平成30年3月21日(水)
4月18日(水)
10:00~18:00

以降の開催日時は、随時お知らせします。

場所 西鉄三国が丘駅 西口
サンカルナ テナント棟 2階 地域交流スペース

(三国が丘駅西口の隣りの建物になります)

※お車でお越しの方は、カフェ専用駐車場はありませんので、お近くのコインパーキングをご利用ください。

運営 三国小学校区協働のまちづくり協議会 三国カフェチーム
問合せ 小都市地域包括支援センター 72-2111 (内線 457)

高齢者の方を中心に、認知症の人もその家族も、地域の誰もが気軽に立ち寄れる『憩いの場』を作ろうと、地域のボランティアが立ち上げたカフェです！みんなで楽しくおしゃべりしたり、一人でほっと一息ついたり、人と人の出会いの場となったり、そんなカフェが「三国カフェ」です。



三 沢 行政区

三沢区長 藤吉 千秋

三沢という地名は、昔、神功皇后がこの地を訪れ、のどが渴いたので持っていた弓で地面をついたところ、清水（一の口）が湧き出した。同様に二の口、三の口と三か所に作られ、そこから流れ出した水が沢となって三つの沢、三沢になったと言われていました。この一の口から流れた沢が口無川です。

三沢区は、かつては三国地区の約二分の一の広さを持つ地域でしたが、西鉄大牟田線沿線への流入人口の増加や小郡・筑紫野ニュータウン等の大規模開発の進展などにより、まちの形も景観も大きく変化してきました。まず、古賀区、新島区、みくにの団地区が分区し、のぞみが丘小学校の新設により美鈴が丘、希みが丘が三沢区から外れ、前後して三国が丘、美鈴の杜の各区が分区し現在の三沢区になっています。

このような三沢区の最大の行事が日吉神社を舞台に8月下旬に実施している「三沢区民夏祭り」です。運動会に代わるものとして初めてまだ3回ですが、区民こそっての祭りとして定着しつつあり参加者も年々増えています。夏祭りの目玉の一つに浴衣来場者へのスイーツ券のプレゼントです。ゆくゆくは“浴衣コンテスト”など行えるといいなと思っています。三沢区は夏祭りをはじめ、いろいろな活動を通じて地域みんなて親睦を図り、住みよい地域づくりを行っています。



西鉄大牟田線 三沢駅



日吉神社



賑わう「三沢区民夏祭り」

三国が丘1行政区

三国が丘1区長 田中 昭弘

三国が丘1区は、平成3年4月1日に21世帯で発足し、平成29年1月1日現在607世帯1,580名です。「自分たちの住む地域は、自分たちで作る」をモットーとし、特に力を入れているのは防犯です。一昔前の三国が丘校区は他地域に比べて空き巣、忍び込みなどの街頭犯罪が数多く発生していました。このため当自治会では平成15年4月から門灯を朝まで点けておく「夜間門灯点灯運動」を実施しました。さらに翌年平成16年8月4日小郡市長・小郡警察署長から各行政区に対し、防犯パトロール隊結成の要請がありました。これを受け、私どもは、自治会役員、組長、PTA役員、睦会会員等73名を募り、平成16年9月1日に防犯パトロール隊を発足し、現在13年が経過しております。

日常の活動は、ボランティアの方々(含ついで隊)、自治会役員、組長、小学生(休み期間中)のメンバーで毎週2日昼夜2回に分け、常時30名の60個の目で区域内をしっかりと巡視し、賑やかに、和気あいあいとパトロール活動を実施しております。

特に環境設備の一環として防犯灯のLED化を促進し、153基全て平成28年6月に完成しました。その結果、夜でも顔が見え、安心して散歩の出来る、明るい街並みを実現でき、犯罪防止と大幅経費削減を達成することが出来ました。

このように永年にわたる区民の積極的な活動のおかげで、平成27年1月1日以降29年11月30日までの1,065日間「空き巣、強盗ゼロ」を実現することができました。諸先輩方が築き上げてきた素晴らしい伝統を、今後とも若い世代につなげ、「健やかで、住みよい、安全、安心」のまちづくりに取り組む所存です。



三国が丘1区防犯パトロール隊の皆さん